

2022年度 事業報告

(2022年4月1日～2023年3月31日まで)

－ はじめに －

2022年度の概況

2022年度の助成事業については、財団設立30周年記念事業を含めて事業計画どおり助成を行なうことができた。

音楽分野において、昨年同様、対面で実技・面接による選考を行ない、その後の第2回理事会（6月3日決議の省略による方法）で助成対象者5名を決定した。さらに7月14日、海外音楽研修生を対象とした助成金目録贈呈式を音楽分野の選考委員に加え、来賓として文化庁参事官(芸術文化担当)等を招き、学士会館にて3年ぶりに実開催した。

地域の伝統文化分野においては、助成先45件について明治安田生命保険相互会社の最寄りの支社に「助成金目録贈呈式」の開催を依頼し、4月から9月にかけて全国の42会場でそれぞれ実施した。開催会場は昨年を引き続き、地元の市町村教育委員会施設等で開催することを優先し、その結果多くの地方紙や地元テレビ局によって贈呈式の開催状況が報道されることとなった。

2022年5月には、財団設立30周年記念誌「財団30年の歩み」を発刊し、助成先のほか、都道府県教育委員会及び市町村教育委員会、文化庁関係機関、マスコミ、博物館や図書館、財団役員等に寄贈した。11月29日には「明治安田クオリティオブライフ文化財団設立30周年記念公演～愛と平和のチャリティーコンサート2022 東京公演～」を明治安田生命と共催した。

役員等の人事については、6月6日に開催された定時評議員会において、理事全員が再任され、新たに監事として石橋健司氏、評議員として安田守氏が選任された。

基本財産の運用に関しては、一定のリスクを許容した財産運用を継続し運用益確保に努めた。財産運用収入は、当初予算を上回る39,114千円を確保することができた。

主務官庁である内閣府への届出等については、監事変更の届出を4月15日付で提出し、2021年度事業報告等を2022年6月15日付で提出した。さらに、評議員及び監事の変更について、7月5日付で内閣府へ提出した。さらに2023年度の事業計画等を2023年3月20日付で提出した。

業務運営面では、元本毀損リスクのある運用に関し、毎月「財産運用モニタリング会議」を継続開催し、リスク管理態勢の高度化に努めるとともに、出捐元である明治安田生命保険相互会社との連携を強化した。具体的には、明治安田生命関連部の部長陪席のもと「財産運用会議」を2022年9月と2023年3月に開催し、出捐元との情報共有を図った。

I. 事業の状況

1. 音楽分野への助成 ～若手音楽家の人材育成に対する助成～

本分野については、前年に引き続きクラシック音楽分野における若手音楽家の人材育成に関し、次の助成を行なった。

- ・海外における音楽研修に対する留学費用助成
- ・国内音楽学生に対する奨学金援助
- ・日本音楽コンクールに対する助成

(1) 海外における音楽研修生に対する助成

① 助成趣旨

わが国のクラシック音楽文化向上のため、国際的音楽家を目指して研鑽中の若手音楽家に対して、海外特に欧米に留学することにより技術を練磨するとともにその実体験を通じてさらに研鑽を深めることを期待して、留学に必要な費用の支援を行なう。

② 助成金額

留学受け入れ先の入学決定を条件に、年額200万円(最長2年間)を助成する。

③ 公募関係

- ・公募時期：2022年1月4日～4月8日
- ・告知の方法：音楽専門大学宛案内(31校)、演奏家団体(53団体)および音楽指導者宛案内(331名)
「音楽の友」等音楽専門誌・その他マスコミ宛ニュースリリース送付
財団ホームページへの掲載

・応募数

年度	応募数
2022	38名
2021	67名

・応募者の情報入手経路の割合(複数回答を含む)

年度	過去申込者	学内掲示	知友人	指導者	音楽情報誌等	インターネット
2022	7.5%	15.0%	7.5%	10.0%	2.5%	57.5%
2021	4.1%	13.7%	8.2%	4.1%	4.1%	65.8%

④ 選考経過

- ・新型コロナウイルス感染状況を見極めつつ、第1次選考委員会は予定どおり4月21日に開催(書類および映像資料審査、審査会場：東京オペラシティ小ホール)し、1次通過者として13名を選出。
- ・第2次選考委員会は、5月20日に開催(実技・面接審査、審査会場：東京オペラシティリサイタルホール)し、5名の助成対象候補者を選出。なお1次通過者のうち2名は参加を辞退。
- ・6月3日開催(決議の省略による方法)の2022年度第2回理事会において、助成対象候補を承認。

⑤ 2022年度の助成実行状況

- ・海外研修生費用助成の対象者に対する助成金目録贈呈式は、7月14日に学士会館にて開催した。なお、助成金は助成目的事由が確定(海外留学先教育機関入学許可証または在学証明書を提出)した後に支給。

・ 2022年度助成対象決定者 5名 助成決定額 1,600万円 (敬称略)

氏名	専攻	助成期間	研修先
略歴			
和田 悠花	ソプラノ	2年	ハルマ音楽院 “アッリコ・ホーイト” (イタリア・ハルマ)
京都市立芸術大学修士課程修了			
松村 由慶	ピアノ	2年	ザルツブルク・モーツァルテウム大学 (オーストリア・ザルツブルク)
桐朋学園大学大学院修士課程修了			
東方 理紗	オルガン	1年	フライブルク音楽大学 (ドイツ・フライブルク)
フライブルク音楽大学修士課程在			
香月 麗	チェロ	2年	パリ国立高等音楽院 (フランス・パリ)
ローザンヌ高等音楽院在			
岡本 侑也	チェロ	1年	ミュンヘン音楽・演劇大学 (ドイツ・ミュンヘン)
ミュンヘン音楽・演劇大学大学院室内楽科在			

・ 2022年度助成実行状況 合計 12名

助成額合計 1,600万円 未払助成金合計 1,200万円

a. 2020年度助成対象者6名のうち2名

助成額合計 200万円 未払助成金合計 0万円 (敬称略)

氏名	専攻	期間	研修先	実行月(金額:万円)	未払額
櫻井 愛子	声楽	1年	ウィーン国立音楽大学		0
吉田 一貴	声楽	2年	ハルマ音楽院 “アッリコ・ホーイト”	6月(100)	0
横山 瑠佳	ピアノ	1年	ミュンヘン音楽・演劇大学		0
黒田 哲平	ピアノ	2年	デトモト音楽大学	4月(100)	0
荒井 優利奈	ヴァイオリン	1年	ウィーン国立音楽大学		0
内尾 文香	ヴァイオリン	1年	ミュンヘン音楽・演劇大学		0

b. 2021年度助成対象者5名のうち5名

助成額合計 800万円 未払助成金合計 200万円 (敬称略)

氏名	専攻	期間	研修先	実行月(金額:万円)	未払額
谷口 知聡	ピアノ	2年	パリ国立高等音楽院	9月,3月(計200)	0
阪田 知樹	ピアノ	1年	ハノーファー音楽演劇メディア大学	4月(100)	0
太田 糸音	ピアノ	2年	ベルリン芸術大学	6月,12月(計200)	100
荒井 優利奈	ヴァイオリン	1年	ウィーン国立音楽大学	4月(100)	0
北田 千尋	ヴァイオリン	2年	ブリュッセル王立音楽院	4月,10月(計200)	100

c. 2022年度助成対象者5名のうち5名

助成額合計 600万円 未払助成金合計 1,000万円 (敬称略)

氏名	専攻	期間	研修先	実行月(金額:万円)	未払額
和田 悠花	声楽	2年	ハルマ音楽院 “アッリコ・ホーイト”	9月,3月(計200)	200
松村 由慶	ピアノ	2年	ザルツブルク・モーツァルテウム大学	10月(100)	300
東方 理紗	オルガン	1年	フライブルク音楽大学	9月(100)	100
香月 麗	チェロ	2年	パリ国立高等音楽院	9月(100)	300
岡本 侑也	チェロ	1年	ミュンヘン音楽・演劇大学	10月(100)	100

(2) 国内音楽学生に対する奨学助成

① 助成趣旨

わが国のクラシック音楽文化の向上のため、将来の専門家を目指して勉学中の国内音楽学生に対して奨学金を支給し、より一層研鑽に励めるよう支援する。

② 助成金額

指定校11校から各1名（原則3年次生以上）に対し年間30万円の奨学助成（最長2年間）を行なう。

③ 推薦受付

- ・2022年1月4日 指定校11校に対し推薦依頼。
- ・2022年5月10日 推薦受付を締め切り、11名の推薦を受け。

④ 選考経過

- ・5月20日開催の選考委員会において、国内音楽学生奨学金受給候補者として11名を選定。6月3日開催の第2回理事会において、助成対象候補を承認。

⑤ 2022年度助成実行状況

- ・指定11校から推薦された3年次生以上の学生各1名を助成対象とし、年間30万円（上期・下期各15万円）を支給。
- ・2022年度助成対象決定者 11名 助成決定額 660万円（敬称略）

氏名	在籍大学(推薦校)	専攻	学年
大谷内 映	東京藝術大学	オルガン	3年
居島 優海	愛知県立芸術大学	声楽	3年
コイツェフ イヴァイロ	京都市立芸術大学	打楽器	3年
玉城 菜摘	沖縄県立芸術大学	クラリネット	3年
李 昌周	武蔵野音楽大学	音楽学	3年
泉 幹大	国立音楽大学	ユフオニウム	3年
佐藤 和泉	桐朋学園大学	ピアノ	3年
稲垣 拓己	東京音楽大学	ピアノ	3年
三井 柚乃	昭和音楽大学	ピアノ	3年
小俣明日香	洗足学園音楽大学	ピアノ	3年
大平 桜花	大阪音楽大学	ピアノ	3年

- ・2022年度助成実行状況 合計22名

支払額合計 660万円 未払金額合計 330万円（敬称略）

決定年度	氏名	在籍大学	専攻	実行月(金額:万円)	未払額
2021	永井 希望	東京藝術大学	ピアノ	6月(15),10月(15)	0
〃	開坂 望生	愛知県立芸術大学	ピアノ	6月(15),10月(15)	0
〃	天勝 悠太	京都市立芸術大学	ピアノ	6月(15),10月(15)	0
〃	坂田 歩	沖縄県立芸術大学	ピアノ	6月(15),10月(15)	0
〃	宮本 桃花	武蔵野音楽大学	ピアノ	6月(15),10月(15)	0
〃	新田 朝香	国立音楽大学	オルガン	6月(15),10月(15)	0
〃	飯塚 歩夢	桐朋学園大学	ヴァイオリン	6月(15),10月(15)	0
〃	尾崎 夏子	東京音楽大学	打楽器	6月(15),10月(15)	0
〃	吉原 佳奈	昭和音楽大学	ピアノ	6月(15),10月(15)	0
〃	鈴木 美羽	洗足学園音楽大学	作曲	6月(15),10月(15)	0
〃	加古 彩子	大阪音楽大学	ピアノ	6月(15),10月(15)	0
計	11名			330万円	0万円

2022	大谷内 映	東京藝術大学	オルガン	7月(15),10月(15)	30
〃	居島 優海	愛知県立芸術大学	声楽	7月(15),10月(15)	30
〃	コイツェフ イヴヰイロ	京都市立芸術大学	打楽器	7月(15),10月(15)	30
〃	玉城 菜摘	沖縄県立芸術大学	クラリネット	7月(15),10月(15)	30
〃	李 昌周	武蔵野音楽大学	音楽学	7月(15),10月(15)	30
〃	泉 幹大	国立音楽大学	ユーフォニアム	7月(15),10月(15)	30
〃	佐藤 和泉	桐朋学園大学	ピアノ	7月(15),10月(15)	30
〃	稲垣 拓己	東京音楽大学	ピアノ	7月(15),10月(15)	30
〃	三井 柚乃	昭和音楽大学	ピアノ	7月(15),10月(15)	30
〃	小俣明日香	洗足学園音楽大学	ピアノ	7月(15),10月(15)	30
〃	大平 桜花	大阪音楽大学	ピアノ	7月(15),10月(15)	30
計	11名			330万円	330万円
合計	22名			660万円	330万円

(3) 日本音楽コンクールへの助成

「日本音楽コンクール」(主催:毎日新聞社/日本放送協会)の運営協力のための助成

・作曲部門最優秀者への寄託賞(明治安田賞50万円)贈呈

<結果> 第91回日本音楽コンクール作曲部門結果(2022年度はオーケストラ作品)

・本選会:8月19日 3作品(応募32作品)於:毎日新聞社内
最優秀者(敬称略):第1位 石川 健人氏

2. 地域の伝統文化分野への助成 ～地域の伝統文化の保存維持、後継者育成に対する助成～

① 助成趣旨

古来、地域に伝承されてきた民族固有の伝統的な文化である地域の民俗芸能・民俗技術等を正しく後世に残すため、その継承活動、特に後継者育成に必要な諸活動費に対する支援を行なう。

② 助成対象

・地域の民俗芸能(民俗行事・民俗音楽を含む)の継承、後継者育成のための助成
・地域の民俗技術(伝統的製作技術・衣食住に関わる生活技術・伝統工芸を含む)の継承、後継者育成のための助成

③ 助成金額

地域の民俗芸能への助成は70万円を限度とし、地域の民俗技術への助成は40万円を限度として助成を行なう。

④ 公募関係

・公募時期:2021年10月4日～2022年1月31日
・告知の方法:都道府県の知事部局および教育委員会の文化担当課ならびに県立の博物館等に申込要領を送付し、応募者の推薦を依頼。加えて、地方紙を中心としたマスコミ宛にニュースリリースを発送。
・応募数

年度	区分	申込件数	(申込都道府県数)
2022	民俗芸能	73	37
	民俗技術	4	4
	合計	77	延べ37
(参考)2021年度応募状況		79	延べ37

⑤ 選考経過

2月22日開催の選考委員会において、書類審査により助成対象候補45件を選定。

年度	区分	件数	助成金額
2022	民俗芸能	43	1,820万円
	民俗技術	2	80万円
	合計	45	1,900万円
(参考)2021年度助成状況		43	1,850万円

⑥ 2022年度助成実行状況

- ・都道府県別に一次推薦先の市町村教育委員会等の施設において、都道府県推薦窓口の方も招き助成金目録の贈呈を行なった。なお、助成金は、助成金目録の贈呈後、対象者が希望する月に支給した。

- ・助成実行状況

助成実行件数合計 45件 助成実行額合計 1,900万円

a. 民俗芸能 43件 1,820万円

地域	対象(団体等)	助成額	地域	対象(団体等)	助成額
北海道	月浦獅子舞保存会	40	愛知県	足助宮町お囃子保存会	50
岩手県	江刺家神楽保存会	40	滋賀県	大荒比古神社奴振り保存会	40
宮城県	中浜神楽保存会	50	京都府	平自治会	50
宮城県	砂沼鹿踊伝承会	50	兵庫県	お弓神事保存会	15
秋田県	新沢八幡神社獅子舞講	55	和歌山県	戯瓢踊保存会	30
山形県	中山町川向金比羅樽流し保存会	25	島根県	宅野神楽団	60
福島県	横沢の麓山祭り保存会	70	広島県	津田神楽団	60
茨城県	日立郷土芸能保存会	50	山口県	北河内神楽舞保存会	50
栃木県	三本木獅子舞保存会	50	山口県	下津令太神楽保存会	50
群馬県	八幡原太々神楽保存会	40	徳島県	姫田獅子舞保存会	35
埼玉県	野々宮獅子舞保存会	40	徳島県	榎木獅子舞保存会	35
千葉県	相野谷郷土芸能保存会	50	香川県	認定NPO法人農村歌舞伎祇園座保存会	45
東京都	代々木囃子保存会	25	愛媛県	牛鬼保存会	30
神奈川県	曾我別所寿獅子舞保存会	30	高知県	尾崎太刀踊り保存会	50
神奈川県	大谷はやし連	30	福岡県	竹の曲保存会	50
新潟県	赤倉神楽保存会	30	福岡県	江上神社風流保存会	50
富山県	広野自治会	30	佐賀県	沖永区自治会	20
山梨県	米倉人形芝居保存会	70	長崎県	風本祭り囃子保存会	50
長野県	下駒沢氏子保存会	20	熊本県	菊池市下出田区、植古閑区	40
長野県	羽場獅子舞保存会	50	熊本県	市原町自治会(市原獅子舞保存会)	50
愛知県	向山区神楽獅子舞保存会	25	宮崎県	綾町唐人踊り保存会	50
愛知県	尾張旭市新居地区馬の塔保存会	40			

b. 民俗技術 2件 80万円

地域	対象(団体等)	助成額	地域	対象(団体等)	助成額
岡山県	作州餅保存会	40	長崎県	宮崎 昭行 氏	40

3. 機関誌の発行

- ・音楽分野『いい人・いい音』2023年1月発行(1,300部)
- ・伝統文化分野『地域の伝統文化』2022年10月発行(3,100部)

4. 財団設立30周年記念誌の編纂・発行(4,500部、2022年5月発刊)

(1) 以下の統合版記念誌の発行

- ① 伝統文化分野：平成23年度～令和2年度助成先のあらまし(20周年記念誌同様)
- ② 音楽分野：2011年度～2020年度に発行した機関誌「いい人・いい音」集約版(選考委員による巻頭寄稿および助成対象者の近況レポート)

(2) 掲載対象[平成23～令和2年度助成先]426団体(個人)中、415団体より原稿および写真の提供を受ける

(3) 助成先(1,260冊)や都道府県教育委員会及び市町村教育委員会等(1,810冊)、文化庁関係機関(70冊)、マスコミ(80冊)、博物館(108冊)や図書館(106冊)、財団役員等に送付。

(参考) 年度別 助成申込件数、助成対象決定件数、助成金額

[金額単位：万円]

年度		音 楽 分 野				伝 統 文 化 分 野				金額計
		日本音楽 コンクール	海外音楽 コンクール	海外音楽 研修生	音楽学生 奨学金	音楽計	民俗芸能	民俗技術	伝統 文化計	
1991 ～ 2003	申込	13	265	1,173	130	1,581	1,606	120	1,726	88,814
	決定	13	40	74	130	257	480	72	552	
	金額	6,650	3,770	33,080	11,970	55,470	30,530	2,814	33,344	
2004	申込	1	—	85	10	96	112	11	123	4,010
	決定	1	—	5	10	16	31	5	36	
	金額	50	—	1,800	510	2,360	1,525	125	1,650	
2005	申込	1	—	87	10	98	139	3	142	4,010
	決定	1	—	6	10	17	37	0	37	
	金額	50	—	1,800	510	2,360	1,650	0	1,650	
2006	申込	1	—	86	10	97	113	10	123	4,246
	決定	1	—	6	10	17	35	2	37	
	金額	50	—	2,000	450	2,500	1,666	80	1,746	
2007	申込	1	—	99	10	110	152	10	162	4,270
	決定	1	—	5	10	16	37	2	39	
	金額	50	—	1,800	570	2,420	1,780	70	1,850	
2008	申込	1	—	88	10	99	129	5	134	4,270
	決定	1	—	5	10	16	39	1	40	
	金額	50	—	1,800	570	2,420	1,810	40	1,850	
2009	申込	1	—	77	10	88	137	7	144	4,240
	決定	1	—	6	10	17	38	4	42	
	金額	50	—	1,800	540	2,390	1,740	110	1,850	
2010	申込	1	—	94	10	105	139	5	144	4,210
	決定	1	—	5	10	16	39	3	42	
	金額	50	—	1,800	510	2,360	1,735	115	1,850	
2011	申込	1	—	81	10	92	172	3	175	4,440
	決定	1	—	6	10	17	41	1	42	
	金額	50	—	2,000	540	2,590	1,814	36	1,850	
2012	申込	1	—	77	11	89	187	7	194	4,557
	決定	1	—	4	11	16	48	6	54	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	2,122	185	2,307	
2013	申込	1	—	81	11	93	160	8	168	4,040
	決定	1	—	5	11	17	40	2	42	
	金額	50	—	1,600	540	2,190	1,775	75	1,850	
2014	申込	1	—	87	11	99	171	5	176	4,120
	決定	1	—	6	11	18	41	3	44	
	金額	50	—	1,600	570	2,220	1,802	98	1,900	
2015	申込	1	—	80	11	92	155	9	164	4,500
	決定	1	—	6	11	18	40	4	44	
	金額	50	—	2,000	600	2,650	1,746	104	1,850	
2016	申込	1	—	67	11	79	137	3	140	4,270
	決定	1	—	5	11	17	41	2	43	
	金額	50	—	1,800	570	2,420	1,800	50	1,850	
2017	申込	1	—	56	11	68	134	6	140	4,130
	決定	1	—	4	11	16	42	1	43	
	金額	50	—	1,600	630	2,280	1,811	39	1,850	
2018	申込	1	—	61	11	73	136	6	142	4,100
	決定	1	—	5	11	17	41	2	43	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	1,775	75	1,850	
2019	申込	1	—	64	11	76	118	8	126	4,100
	決定	1	—	4	11	16	39	3	42	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	1,736	114	1,850	
2020	申込	1	—	58	11	70	133	5	138	4,160
	決定	1	—	6	11	18	39	3	42	
	金額	50	—	1,600	660	2,310	1,740	110	1,850	
2021	申込	1	—	67	11	79	78	1	79	4,160
	決定	1	—	5	11	17	42	1	43	
	金額	50	—	1,600	660	2,310	1,813	37	1,850	
2022	申込	1	—	38	11	50	73	4	77	4,210
	決定	1	—	5	11	17	43	2	45	
	金額	50	—	1,600	660	2,310	1,820	80	1,900	
累 計	申込	32	265	2,606	331	3,234	4,181	236	4,417	168,857
	決定	32	40	173	331	576	1,233	119	1,352	
	金額	7,600	3,770	66,080	22,860	100,310	64,190	4,357	68,547	

II. 庶務の概要

1. 役員等に関する事項

2023年3月31日現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	略歴	備考
理事	関口 憲一	2022/06/06	理事長(非常勤)	明治安田生命保険(相)名誉顧問	2014/06/10
理事	壁谷 章可	同	専務理事(常勤)	当財団事務局長	2017/06/01
理事	小島 美子	同	非常勤	国立歴史民俗博物館名誉教授	2012/04/01
理事	醤油 和男	同	常勤	明治安田システム・テクノロジー(株)元監査役	2016/06/14
理事	竹内 彰雄	同	非常勤	片倉工業株式会社元会長	2016/06/14
理事	丹羽 正明	同	同	音楽評論家	2012/04/01
理事	平出 功	同	同	T P R株式会社特別顧問	2010/06/23
理事	深澤 正宏	同	同	安田不動産株式会社相談役	2009/03/10
理事	星野 紘	同	同	公益財団法人全日本郷土芸能協会理事長	2009/06/04
監事	津吹 茂	2020/06/17	非常勤	オリジン電気株式会社元常勤監査役	2020/06/17
監事	石橋 健司	2022/06/06	非常勤	明治安田生命保険(相)関連事業部長	2022/06/06
評議員	朝岡 康二	2020/06/17	—	沖縄県立芸術大学元学長	2008/03/10
評議員	池田 輝彦	同	—	みずほ信託銀行株式会社元社長	2020/06/17
評議員	海老澤 敏	同	—	尚美学園大学名誉教授	2012/04/01
評議員	鈴木 伸弥	同	—	明治安田生命保険(相)特別顧問	2014/06/10
評議員	田中 宏	同	—	株式会社クレハ名誉顧問	2014/06/10
評議員	根津 嘉澄	同	—	東武鉄道株式会社取締役社長	2010/06/03
評議員	松尾 憲治	同	—	明治安田生命保険(相)名誉顧問	2014/06/10
評議員	安田 守	2022/06/06	—	安田不動産株式会社常務取締役	2022/06/06
評議員	渡辺 行信	2020/06/17	—	当財団元専務理事	1997/06/10

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日。

2. 選考委員に関する事項

2023年3月31日現在

(1) 音楽分野

役名	氏名	就任年月日	略歴	備考
選考委員長	丹羽 正明	2022/04/01	音楽評論家	1991/06/23
選考委員	植田 克己	同	ピアニスト・東京藝術大学名誉教授	2000/04/01
選考委員	白石 美雪	2022/05/10	音楽評論家・武蔵野美術大学教授	2022/05/10
選考委員	多田羅迪夫	2022/04/01	声楽家・東京藝術大学名誉教授	1991/06/23
選考委員	徳永 二男	同	ヴァイオリニスト・桐朋学園大学特任教授	2019/04/01
選考委員	沼野 雄司	同	桐朋学園大学・大学院教授	2021/03/10
選考委員	山本 正治	同	クラリネッティスト・東京藝術大学名誉教授	1991/06/23
選考委員	山内 彰	同	当財団前事務局長	2022/04/01

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日。

(2) 伝統文化分野

役名	氏名	就任年月日	略歴	備考
選考委員長	小島 美子	2022/04/01	国立歴史民俗博物館名誉教授	1991/06/23
選考委員	神野 善治	同	武蔵野美術大学名誉教授	2021/03/10
選考委員	田中 宣一	同	成城大学名誉教授	1991/06/23
選考委員	西角井正大	同	前日本民族芸能協会会長	1995/06/06
選考委員	星野 紘	同	全日本郷土芸能協会理事長・日本民俗音楽学会会長	2014/04/01
選考委員	山内 彰	同	当財団前事務局長	2022/04/01

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日。

3. 職員に関する事項

2023年3月31日現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	備考
専務理事・事務局長	壁谷 章可	2017/04/01	総括・企画・総務等	明治安田生命保険(相)より出向
理事	醬油 和男	2016/06/14	対外諸活動、経理監視	
事務局次長	千田 伸也	2021/04/01	リスク管理・コンプライアンス	明治安田生命保険(相)より出向
主幹	山内 彰	2010/01/01	事務局長所管業務補佐	
主任	金子 悦子	2007/01/01	会計・総務	

4. 会議等開催に関する事項

(1) 理事会

開催日	出席等	議事事項	会議の結果
2022年 5月10日	決議に必要な出席 理事の数 5名 出席 9名 欠席 0名 監事出席 1名	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度事業報告及び附属明細書承認の件 ・2021年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書承認の件 ・音楽分野選考委員1名選任の件 ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等承認の件 ・職務執行状況報告 	<p>原案どおり可決 同上 同上 同上</p>
2022年 6月3日	(決議の省略の方法による)	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度音楽分野の助成対象の件 	原案どおり可決
2023年 3月6日	決議に必要な出席 理事の数 5名 出席 9名 欠席 0名 監事出席 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度事業計画、収支予算書等承認の件 ・寄付金等取扱規程制定の件 ・2023年度地域の伝統文化分野助成対象の件 ・伝統文化分野選考委員1名選任の件 ・職務執行状況報告 	<p>原案どおり可決 同上 同上 同上</p>

(2) 評議員会

開催日	出席等	議事事項	会議の結果
2022年 6月6日	決議に必要な出席 評議員の数 4名 出席 6名 欠席 2名 監事出席 1名	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度事業報告及び附属明細書承認の件 ・2021年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書承認の件 ・理事全員任期満了に伴う選任の件 ・監事1名選任の件 ・評議員1名選任の件 ・報告事項（2022年度事業計画・収支予算、2022年度伝統文化分野助成対象、2022年度音楽分野の選考について） 	<p>原案どおり可決 同上 同上 同上 同上</p>

(3) 選考委員会

① 音楽分野

開催日	内容
2022年 4月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度申込者の第1次選考審査会(書類および映像資料審査)を東京オペラシティ小リハーサル室にて実施。 ・第1次審査通過者として13名を選定。

2022年 5月20日	<ul style="list-style-type: none"> 第2次選考審査会（実技および面接審査）を東京オペラシティリサイタルホールで実施。 2022年度海外研修助成対象候補者として5名を選定。 主要11音楽大学から推薦された11名を2022年度国内音楽学生奨学金受給対象候補者として承認。
2022年 10月7日	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度公募方針ならびに申込要領を日本工業倶楽部にて検討。

② 伝統文化分野

開催日	内 容
2022年8月25日	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度公募方針ならびに申込要領の内容を決定。
2023年 2月21日	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度申込の選考委員会（書類および写真審査）を明治安田生命本社ビル会議室にて実施。 助成対象候補先として、民俗技術1件、民俗芸能47件を選定。

(4) 監事による監査

開催日	内 容
2022年 4月27日	<ul style="list-style-type: none"> 津吹監事による2021年度決算監査を実施。
2022年 11月21日	<ul style="list-style-type: none"> 津吹監事ならびに石橋監事による2022年度中間監査を実施。

5. 主務官庁等に関する事項

- 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項の規定に基づき、監事の変更について、2022年4月15日付で内閣府へ提出した。
- 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規定に基づき、2021年度事業報告等について、2022年6月15日付で内閣府へ提出した。
- 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項の規定に基づき、評議員及び監事の変更について、2022年7月5日付で内閣府へ提出した。
- 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規定に基づき、2023年度事業計画等について、2023年3月20日付で内閣府へ提出した。

6. 契約に関する事項

該当事項なし。

7. 寄付金に関する事項

寄付者	領収金額
明治安田生命保険相互会社	3,000万円

8. リスク管理およびコンプライアンスに関する事項

- (1) コンプライアンス違反懸念、情報漏洩懸念、事務・システムリスク等、苦情に関する発生状況、対応状況等

	発生件数	累 計	対前年増減	備考（傾向と対策）
コンプライアンス違反懸念	0件	0件	0件	—
情報漏洩懸念	0件	0件	0件	—

事務・システムリスク等	0件	0件	0件	—
うち重大事務リスク該当件数	0件	0件	0件	—
苦情・相談	0件	0件	0件	—

(2) 主務官庁の立入検査結果とその指摘事項に関する改善状況

監査の名称（監査実施年度）	指摘事項	前回指摘の改善状況
—	—	—

(3) 規程・方針等の整備状況

① コンプライアンス関連

- ・2022年度「コンプライアンス取組計画」に対する評価を実施（2022年9月）[評価：当初計画どおりに実施でき課題はなかった。]

② リスク管理関連

- ・2022年度「リスク管理の重点実施事項」に対する取組みを検証したが、新たに認識した課題はなかった。

③ 制定および改正した規程等

- ・「個人情報の保護に関する基本方針」（2022年4月）
- ・「環境方針」（2022年4月）
- ・「就業規則」（2022年4月）
- ・「外部委託管理規定」（2022年7月）
- ・「外部委託管理細則」（2022年7月）
- ・「外部委託評価基準」（2022年7月）

④ 制定・改正した手順・解説書等

- ・「災害対策 手順・解説書」（2022年5月）
- ・「コンプライアンスマニュアル」（2022年7月）
- ・「情報システム利用マニュアル」（2022年7月）
- ・「外部委託管理にかかる手順・解説書」（2022年7月）

9. 反社会的勢力への対応状況

(1) 新規取引先に関する属性点検実施状況（今年度累計：2022年4月1日～2023年3月31日）

	全取引先数			点検必須 項目数	必須項目属性点検照会件数			点検結果	備考
	うち、上場企業・ 関連会社等	うち、個人契約	うち、代表者名		うち、個人契約				
外部委託契約 締結先	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
一般契約 締結先	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	懸念先なし	
その他取引先等 (助成申込先:注)	134件	0件	134件	134件	134件	0件	134件	懸念先なし	

(注) 対象は 2023 年度地域の伝統文化、2022 年度海外音楽研修費用助成申込および国内音楽学生奨学助成新規分

(2) 一般契約書への反社条項導入状況

有効契約数	反社条項 導入要契約	反社条項 導入完了契約	完了率	完了予定
5	5	5	100%	

- ・反社条項とは、外部委託契約等において、締結先が反社会的勢力との関係を持たないことを確認する契約条項

(3) 反社情報の明治安田生命への連携状況

報告年月日	報告内容	明治安田生命との連携状況
	該当なし	

(4) 既取引先の属性点検実施状況 (2023 年 3 月末状況)

	全取引先数			点検必須 項目数	必須項目属性点検照会件数			点検 結果	備考
	うち、上場企 業・ 関連会社 等	うち、個人契 約			うち、代表 者名	うち、個人契約			
(注1) 特定外部委 託 契約締結先	3 件	3 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	/	
(注2) その他外部委 託・一般契約 締結先	5 件	1 件	0 件	7 件	7 件	4 件	0 件	懸念先 なし	
(注3) その他取引先 等	18 件	0 件	18 件	18 件	18 件	0 件	18 件	懸念先 なし	

(注1) 特定外部委託：明治安田生命本体および明治安田生命関連会社との委託契約

(注2) その他外部委託・一般契約：

- ・毎日新聞社（日本音楽コンクール賞金寄託覚書）
- ・キャンノンマーケティングジャパン社（キャンノビ®-機メンテナンス契約）
- ・カネテツ（産業廃棄物処理委託契約）
- ・小湊（産業廃棄物処理委託契約）
- ・SCB 新宿センタービル管理株式会社（清掃業務委託契約）

(注3) その他取引先等：

- ・2021 年度以前に助成決定した海外音楽研修生および国内音楽大学助成者

Ⅲ. 2023年度のリスク管理への取組み

1. 重要リスクの特定

重要リスク	具体的取組事項	モニタリング手法
1. 新型コロナウイルス感染症の影響長期化	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化分野の後継者育成のための助成事業、および若手音楽家育成のための助成事業の適正な運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・「理事会」における審議事項や、職務執行報告を通じた財団役員への報告と承認
2. サステナビリティ経営に対する社会的要請への対応不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・助成事業の事業計画に則った持続可能な運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・出捐元との連携や、基本財産運用益の予実管理を通じた検証 ・地方公共団体や音楽大学との情報連携を強化し、助成ニーズを適切に把握
3. 資産運用環境の大幅悪化	<ul style="list-style-type: none"> ・元本毀損リスクのある上場REITの相場の注視と「モニタリング会議」の実効性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「モニタリング会議」「財産運用会議」の内容を理事長に報告し、指示を受け改善する。(PDCA サイクル)
4. サイバー攻撃・犯罪による被害	<ul style="list-style-type: none"> ・「リスク管理の重点実施事項」のシステムリスク・セキュリティにかかる取り組みに記載 	<ul style="list-style-type: none"> ・「経営チェックリスト」を活用した自己点検 ・標的型攻撃メールによる訓練を通じたルール遵守状況を把握
5. 大規模な自然災害やパンデミックの発生	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の出社訓練等を行い態勢の有効性を確認 ・常時テレワーク者(1名)体制の施行 	<ul style="list-style-type: none"> ・「経営チェックリスト」を活用した自己点検 ・「自衛消防隊訓練」を通じた対策の有効性確認
6. ICT・DXの進展による事業環境変化への対応不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・「紙」に依存した公募方法からクラウド等を中核とした対外的な情報入手等の移行可能性の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・システムを担う関連会社との連携を強化した調査・研究
7. 人財の量・質の確保への対応不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行に必要な情報が確保できる専門人財の確保 ・OJTによるスキルアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部セミナーを利用した自己研鑽 ・引継ぎ業務を通じたスキルアップ
8. 従業員の安全配慮義務への対応不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・「36協定」など法令や社内ルールを遵守した運営 ・メンタル起因による長期不就労者発生の未然防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・「経営チェックリスト」を活用した自己点検 ・「内部管理自己点検シート」を活用した検証

2. リスク管理の重点実施事項

リスク管理規程に基づき、2023年度のリスク管理の重点実施事項を以下のとおり定める。

1. 方針、規程、手順・解説書の見直し

公益認定等ガイドライン等をふまえたリスク・コンプライアンス関連の方針、諸規程、手順・解説書の見直しによりリスク管理態勢の高度化を推進する。

2. リスク・コンプライアンス推進委員会の定期的開催と理事会等への報告

リスク管理・コンプライアンス態勢については、「経営チェックリスト」等の内部管理自己点検の結果を基本に、定期的にリスク・コンプライアンス推進委員会に報告するとともに課題の解決策を講じる。また、理事会等へ報告する。

3. 基本財産の運用に関するモニタリング強化

資産運用リスクに対応するため、毎日の市場価格を「モニタリング会議」を通じ、確認・検証等を行う。また、会議内容を理事長へ報告するとともに、半期に一度「財産運用会議」を行い、出捐元との連携を強化しリスク管理態勢の高度化に努める。

4. 「経営チェックリスト」等による内部管理自己点検の実施

業務の健全性とガバナンスの適切性を確保するため「経営チェックリスト」による内部管理自己点検を年一回以上実施する。なお重要度が高い業務にかかる事項は毎月実施する。

5. 役職員教育・研修の実施

リスク・コンプライアンス関連の法令・諸規程の周知徹底、およびリスク管理・コンプライアンスに関する学習教材、事例、内部管理自己点検等によるリスク管理・コンプライアンス態勢の検証等により、全職員を対象に教育・研修・情報交換を実施し、リスク管理・コンプライアンスが当財団の経営の健全性を与える重要性を全職員に徹底する。また、財団関係者を大切にすることをすべての業務運営における基本原則として定め、その重要性を全職員に徹底する。

6. 個人情報保護への継続的な取り組み

助成申込者および財団役員等からお預かりした個人情報、個人番号および特定個人情報を大切に保護・管理するために、個人情報保護法、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律をはじめとする関係法令および社内規程等の遵守の重要性を周知・徹底するとともに、さまざまな安全管理措置等の適切な取扱い等を徹底し、情報漏洩の発生原因を徹底的に排除した態勢を整備する。

7. システムリスク・セキュリティにかかる取り組み

保有・利用する情報システムにおいて、以下の各号のとおりシステムリスク管理態勢の整備を推進する。

あわせて、全役職員を対象に情報システム利用マニュアルの周知徹底を図る。

- (1) システムの品質確保に向け、必要な要件がシステムに正しく反映されていることを、システム稼働前に確認する
- (2) システムのセキュリティの確保に向け、必要なセキュリティ対策が取られていることを、システム稼働前(外部サービス利用は利用開始前)および定期的に確認する
- (3) 社外メール・インターネットを通じた外部攻撃(ウイルス感染、サイバー攻撃等)の危険を認識し、システムの安全利用に努める

8. リスク等発生時のレポートラインの整備と徹底

「リスク・コンプライアンス違反等に関する管理・報告ルール」および「お申し出に関する管理・報告ルール」を周知徹底し、リスク等発生時には迅速な情報の収集によりリスクの伝播を防止し、発生原因の分析、再発防止策の策定・実施を行う。

附属明細書

2022年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。